

来たれ! 青年部

今回は広報ふじみの500号という事で富士見町商工会青年部への勧誘をさせていただきます。

我々青年部はオッコー祭りをはじめ様々な地域発展の為にイベントを行っておりますが、それだけではなく、企業経営の専門家を招いて研修会なども開いています。それは地元企業の後継者として、将来の町の発展を担うための勉強です。そしてなにより重要なものが“仲間”。年齢も近い同業だけでなく他業種の仲間とともに行動し、話し、悩むことで人としても成長できる素晴らしい団体なのです。私自身も青年部の仲間と行動する中で教わったものが多くあり、それが仕事にも繋がっています。

富士見で起業された方、後継者の方は是非入部してください! いままでと違う世界、仲間が待っています!

- *入部資格 富士見町で企業を運営されている方、または後継者(社長の許可があれば従業員でも可)
- *年齢 40歳で定年です
- *入部金 なし(部金として年1万円ほど必要です)
- *申し込み 富士見町商工会(☎62-2373)またはお近くの青年部員に声をかけてください

○報告が遅くなりましたが、7月に行われたオッコー祭りにおいて、皆さまからお預かりした東日本大震災の義援金¥166,800円を9月に町長を通じて日本赤十字社に寄付させていただきました。ご協力ありがとうございました。



～女性の瞳と笑顔と共に～ 第4回

地域の活性化や元気なまちづくりには、女性の力は欠かせません。様々な女性たちが町内で活躍しています。今月は、消費生活の改善・向上を主に行っている『富士見町 消費者の会』をご紹介します。



レジ袋削減を促す活動

Q1 活動内容を教えてください

消費生活に関する知識の普及および各種の実践活動を通じ、富士見町民の消費生活改善や向上を図り、安心・安全な生活ができることを目的としています。活動の一つとして、地方事務所、諏訪地方消費者の会連絡協議会と連携のもと「レジ袋削減キャンペーン」を毎月1回店頭で行っています。

Q2 会の発足・人数

昭和54年4月1日に60名位の会員で始まり、現在は35名で活動しています。

Q3 活動していて良かったことは?

「レジ袋削減キャンペーン」中、お店に入る方から「ご苦労さま」と声をかけていただいた時や、生活展にボカシ出品をした際「待っていたよ～」と言って、利用してくださる人々がいることです。

Q4 今後の抱負について

消費生活は本当に巾が広く、私達の暮らし全てが対象となるため「消費者庁」もできました。そこで、一人でも多くの人が消費生活で被害に合わないよう、また、少しでも安心・安全な生活や暮らしに繋がる活動が出来れば良いと思っています。さらに、環境に配慮した暮らしの推進を行い、賢い消費者を目指せば良いと考えています。



おだよしこ
▲会長の織田淑子さん



私達と仲間になりましょう!

最後に一言!

消費者被害を防ぐためには、「自分の身は自分で守る」ことから始まると思います。だまされない為に「うまい話」には乗らず、はっきり断りましょう。私達と仲間になり、ご協力いただける方、お待ちしております。